

相模原市感染症情報

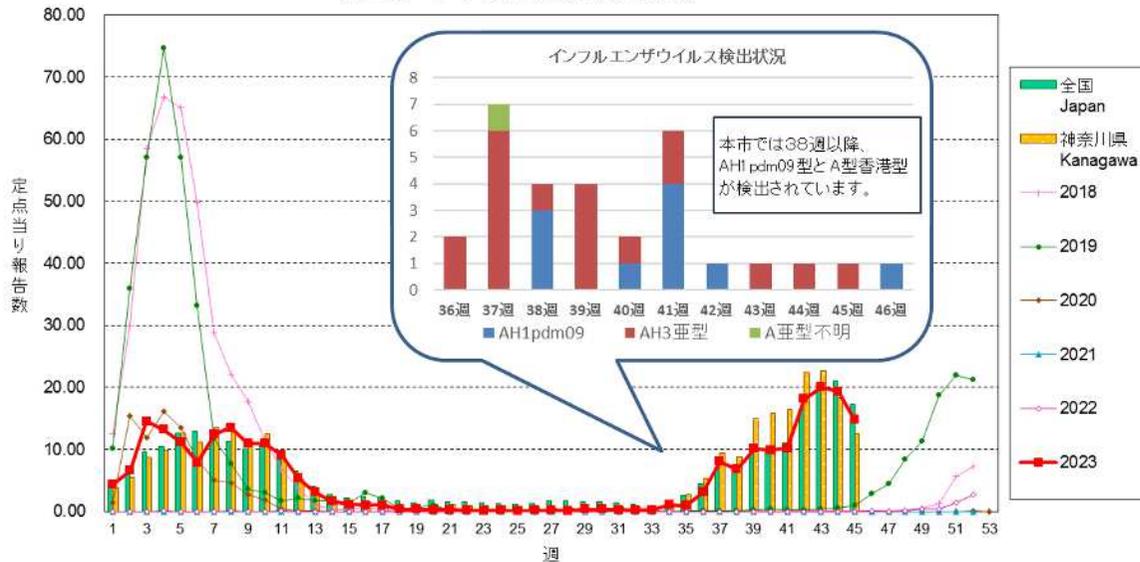
2023年11月



今月の注目疾患：インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスによる感染症です。インフルエンザウイルスにはA型、B型、C型の3つの型がありますが、ヒトで流行するのはA型、B型です。毎年A型は冬に、B型は冬の終わりから春にかけて流行がみられます。今年は例年よりも早くA型が流行しています。

インフルエンザの定点あたりの報告数



【今シーズンの特徴】

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響でインフルエンザの流行が低調であったこと等により、抗体の保有割合が全年齢で低下傾向であるため、インフルエンザの流行が起こりやすい状況と考えられます。

さらに、今シーズンは同じA型であっても2種類のインフルエンザが流行しているため、A型に2回かかる可能性があります。

【主な症状】

約1～3日の潜伏期間の後に、急な発熱（38度以上）、頭痛、鼻水、咳、筋肉痛や関節痛などが見られます。

早めのワクチン接種が有効



インフルエンザワクチンは毎年、世界各国での流行状況などをみて、国内での流行を予測して作られています。予防接種には、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があります。

基本的な感染対策

インフルエンザは、ヒトからヒトに感染します。

予防のためには、流行しているときは人混みを避け、感染ルートを断つことが大切です。

また、咳や痰などの症状がある場合は、他の人への感染を防ぐため、「咳エチケット」を心がけましょう。



手を洗おう

消毒しよう



マスクをしよう

換気をしよう



相模原市 感染症情報センター



発行：相模原市衛生研究所

★相模原市感染症情報センターでは、毎週感染症に関する情報を掲載しています